

おおの通信

第94号



4月24日に大野ふれあい館にて大野振興会の総会が開催され、平成27年度の振興会長には山口恒一会長の再任、振興会役員も決まり、平成27年度のスタートを切りました。

会長就任の挨拶

春の農作業が一段落するこの頃、皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。この2年間、地域の皆さまのご協力をいただき、おかげ様で振興会の事業・活動を順調に達成することが出来ました。大野小学校の閉校という地域にとって大きな転換期を迎え、閉校への取組み、また跡地の活用など、引き続き取り組まなければならない課題があります。

4月24日の大野振興会の総会において承認いただき平成27年度、28年度の会長として引き続き務めさせていただくこととなりました。大半の役員も留任し、引き続き大野地区の振興に取り組んでいきます。平成27年度は大野小学校の跡地の活用を最大の事業として下記のような事業に繰り組んでまいります。地域の皆さまの一層のご協力をお願い申し上げます。

平成27年度 美山町大野振興会活動方針

(1) 大野小学校跡地利活用事業「美山大野36プロジェクト」を具体化する体制づくり・運営方法を確立します。

- ◎ 南丹市に提出した要望内容に沿って、地域住民が主体的に活用するための体制づくりを行います。

(2) 地域の生活基盤・産業基盤の充実に取り組みます。

- ◎ 集落の要望・地域の要望の実現に向け、行政に積極的に働きかけを行います。
- ◎ 脇谷バイパス完成に向け、行政との協議をおこなう組織を、対象となる3集落と協議し設立します。

(3) 地域の主要産業である農業の維持、農産物等の販売拡大に取り組みます。

- ◎ 耕作放棄地の活用に取り組み、獣害対策の有効な方法を模索します。
- ◎ 先進地視察、大野ダムさくら祭り、もみじ祭り等を活用し、地域の自慢の食品・野菜などの開発・生産・販売の拡大を支援します。
- ◎ 地域の食文化の継承・開拓に取り組みます。

(4) 安心してらせる安全な生活環境づくりに取り組みます。

- ◎ 虹の湖ネットワーク推進会議と連携し、高齢者の見守り、学童の通学の安全に取り組みます。
- ◎ 来年度からの美山小学校への安全なバス通学の対策を検討します。

(5) 新たにスタートする美山小学校で、子供たちが充実した教育が受けられる環境づくりを各振興会・各団体と協力して行います。

(6) 地域の皆さんが健康で、こころ豊かに暮らせる事業を行います。

- ◎ 大野地区体育大会やスポーツ大会を開催し、健康・体力づくりを推進します。
- ◎ 人権意識の向上、こころ豊かな生活が送れるための文化活動を実施し、先人が守り育ててきた伝統文化、自然環境を維持・継承し住民が誇りをもって暮らす地域づくりを目指します。

(7) 大野ダム公園・美山かやぶき由良里街道を中心とした観光事業を推進します。

- ◎ 第30回大野ダムさくら祭り・第27回大野ダムもみじ祭りを開催します。
- ◎ 大野ダム公園の飲料水の安定供給を南丹市に依頼します。
- ◎ 地域の「さくら・もみじ」の維持活動を推進し、大野ふれあい館の観光コーナーの充実を図ります。

(8) 農家民泊の受け入れを拡大し、定住促進に繋げていきます。

(9) おおの通信やインターネット等で、大野地区の情報や魅力を積極的に発信します。



平成27年度振興会役員

会長 山口 恒一
副会長 上田 道雄

	部長	副部長
企画総務部	福原 英樹	山中 祥子
産業部	堀 忠明	竹田 茂
生涯学習部	福本 晃	東 晋也
文化観光部	中村 誠	山名 友紀
事務局長	小崎フサエ	

宜しくお願い致します。

台湾の高校生がやってきた



～5/27～29・美山町の農家に35名が滞在～
大野地域でも2組8名が2軒のお宅にお世話になり、2泊3日の農家生活を体験しました。
28日には大野小学校の恒例行事「茶摘み」を児童たちと行ないました。



茶摘みの様子

大野振興会の職員が変わりました。



～新任の挨拶～

4月よりお世話になっています米山悟子と申します。まだまだ業務に慣れておらずご迷惑おかけしますが、大野の皆さんのお役に立てるよう、頑張ります！大野ふれあい館や大野屋さんにお越しの際には事務所へも是非気軽にお立ち寄りください。お世話になります。よろしくお願い致します。

第30回大野ダムさくらまつり

無事終了のお礼

「第30回さくら祭りを終えて」

30回目のさくら祭りを無事終えることができました。大勢の方々に大野ダム公園へ足をお運びいただき感謝申し上げます。出役、出品、出店、出演など、関係各位お疲れさまでした。30年間、今日まで続けてこられたのも、家庭、集落、地域のコミュニティがあるからこそ。大野地域にはさくら祭りを続けてきた30年間をはじめ、様々な歴史が詰まっています。長く続けることが目的ではありませんが、長く続けてこられた大野地域の実力こそがその成果なのだとおもいます。うれしいことに、今回は新しい商品、生産者の参加などがありました。時代の変化は益々スピードを上げているようにも見えますが、大野ダム公園は「ゆったりとした」場所として今後も親しまれていってほしいと思います。

今後もさくら・もみじ祭りでお待ちしています。(文化観光部長／中村)



大野ふるさと太鼓のみなさん

今・大野区では・・・

あれが「まむし草」やと溝刈時のちょっとした話題になっています。というのは大野区では日曜日の7:30から集落内を歩いてみませんかとの声掛けがあり、おおのウオークが始まっています。そのウオーク時に「まむし草」を見つけたという記事が大野区通信に載りました。「ながいこと住んでるけど初めて見たわ」「たくさんあるん？」「どうしてそんな名前がついてるんやろ？」等々この話題で盛り上がりました。

こちらが話題の「まむし草」

